

令和5年度 第1回 見附市障害者自立支援協議会 議事録

日時 : 令和5年12月27日(水) 午後2時～午後3時40分

場所 : 見附市保健福祉センター 集団検診室1.2

出席者 : 平瀬勝会長、徳橋功副会長、小林義明委員、高野やよい委員、眞壁薫委員、八子円委員、
落合直樹委員、小出直樹委員、金安志津子委員、野上舞委員

会議次第 :

- 1、開会
- 2、見附市健康福祉課長あいさつ
- 3、委員及び事務局自己紹介
- 4、議事
 - (1) 見附市障害者自立支援協議会活動概要および令和4年度報告…(資料1)
 - (2) 第4期障がい者計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画の進捗状況について
 - ・令和4年度成果目標に対する進捗状況について…(資料2)
 - ・令和4年度活動指標に対する実績報告について…(資料3)
 - (3) 令和5年度見附市障害者自立支援協議会の活動について…(資料4)
- 5、その他

《会議概要》

1、開会

2、見附市健康福祉課長あいさつ

(小此鬼健康福祉課長)

見附市では「思いやりにつつまれてだれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を基本理念に「第4期見附市障がい者計画・第6期見附市障がい福祉計画・第2期見附市障がい児福祉計画」を推進している。市内の事業所の動きとしては、4月に障がい児サービス事業所が開業したほか、次年度に児童発達支援事業所が開業する予定があるなど、障がい児サービスは少しずつ充実してきている。一方で、障がい者の日中活動の場や、短期入所施設などが不足していることが課題である。本日の会議では、計画の進捗状況について報告させていただく。今年度は障がい福祉計画の最終年度であり、次回から次期計画策定に入っていくため、本日は忌憚のない意見交換をお願いしたい。

3、委員及び事務局自己紹介

4、議事

(1) 見附市障害者自立支援協議会活動概要および令和4年度報告

(事務局)

※見附市障害者自立支援協議会活動概要および令和4年度報について、資料1を用いて説明
(平瀬会長)

地域生活支援部会が進める地域生活支援拠点の面的整備について、詳しい説明を聞きたい。

(事務局)

障害者の重度化、高齢化、親亡きあとを見据え、地域で拠点を整備し、5つの機能「相談」「緊急時の受け入れ対応」「体験の場の確保」「専門的な人材の確保養成」「地域の体制づくり」によって、地域生活での安心の確保や継続的な支援体制の構築が期待されているもので、国が示す障がい福祉計画の基本方針において、令和5年度末までにの整備と年一回の運用状況の検証及び検討が求められている。見附市ではR2年度から拠点整備について協議を行い、地域資源の洗い出しや、相談・緊急時の受け入れ体制について協議しており、緊急時の受け入れマニュアルと台帳については今年度の協議会にて承認いただけるよう準備している。

(金安委員)

地域生活支援部会は、新型コロナウイルスの影響や本会議の開催時期の影響などにより、部会の開催回数が限られてしまい、これまで拠点整備について煮詰めることが難しかった。部会の開催には事務局の配慮をお願いしたい。また、見附市では大きな建物として拠点を整備することは難しいため、複数の市内の事業所で体制を構築する「面的整備」を目指している。細部について皆さんから意見をいただきながら進めていきたい。

(2) 第4期障がい者計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画の進捗状況について

- ・令和4年度成果目標に対する進捗状況について
- ・令和4年度活動指標に対する実績報告について

(事務局)

※令和4年度成果目標の進捗状況および令和4年度活動指標の実績報告について、資料2、3を用いて説明

(平瀬会長)

成果目標と活動指標についての報告であった。関連して、各事業所の状況はどうか。

(小林委員)

就労系事業所の最近の流れとして、福祉事業者以外に一般企業の参入が目立ってきている。今後は魅力ある事業所が選ばれるようになっていくのではと考えている。また、雇用については、障害者雇用ではなく、就労継続支援A型の利用希望が増えていると感じる。一般就労よりも、守られた環境で働きたいというニーズがある。

(高野委員)

自身が務める事業所では、就労継続支援B型や就労移行支援、生活介護が定員に達している。就労継続支援B型は守られた環境からの一般就労が難しく、空きが出にくい。就労移行支

援利用者でも就職が難しい傾向にある。発達障害の人などは、仕事の能力が高くても、本人の特性が職場で理解されず、同僚の何気ない言葉に傷ついたり、将来が不安になったりして心のバランスを崩し、仕事が続かない。就労先企業の体制整備や、従業員への啓発活動が求められている。

(落合委員)

国としても「福祉から雇用への流れを加速させる」としているが、実際には簡単ではないと聞かせてもらった。全国的に見れば、就労移行支援から一般就労に結びついた割合が、10年前と比較して上昇しているという調査結果もあり、少しずつ就労が進んでいるとも感じる。A型の利用希望者が増えているとの話だが、一般就労の能力があっても、周囲の支援が無いためにA型を選択をせざるを得ないという状況であれば、支援の強化が必要である。企業側に障害者への接し方を知ってもらうなど職場理解を深め、働きやすい環境整備が必要だと感じた。

(真壁委員)

放課後等デイサービスは、放課後の見守りと自立訓練を目的として5年ほど前から始めた。市内でも事業所は増えつつあるが、どこも定員に達している。自身の事業所では、自立を促す個別トレーニングを手厚く行っており、利用の要望がとても多い。緩やかな成長の中で独り立ちを促す支援を目指しており、特別支援学級から通常学級へ移ったり、通常学級での支援を減らせるようにしている。

保育所等訪問支援は集団への適応を目指す支援で、4年ほど前から始めている。実際は小・中・高・特別支援学校生の支援が中心。経験豊富な職員が訪問して児童を観察し、直接支援したり、先生に提案するなど間接的に支援している。きめ細やかに学校、家庭と連携した結果、学校に行けなかった児童が、今は一人で授業を受けられるようになったなど支援の効果が出てきている。子どもたち本人のために、将来自立して生きられるように日々手探りでやっている。市のバックアップに感謝している。

(八子委員)

精神障害者に特化した対応について、市として課題をどのようにとらえているかまた、医療的ケア児についてどのようにとらえているか。

(事務局)

保健所の協力も得ながら、精神障害者にも対応した包括的ケアシステムの構築を進めている。支援が必要な精神障害者については、ケース会議を開き、保健所や病院の関係者にも入ってもらいながら地域体制の検討を行っている。こういった個々のケースの積み重ねが、包括的な連携体制につながっていくものと考えている。また、医ケア児については、相談支援事業所との定例会にて、情報共有、対応の協議をしているが、市内では対応する事業所も少なく、支援体制が十分ではないと認識している。現在は、災害発生時の避難体制の確認や、それを基に

した避難訓練を保健所と協力して取り組んでおり、今後の支援についてもこども課や保健所と連携しながら検討して行きたい。

(八子委員)

医療との結びつきが強く、障がいといった視点だけでは困難な部分も多いと思うが、引き続き共同して取り組んでいきたいと考えている。

(徳橋委員)

計画の数値目標に対する評価基準について聞かせてもらいたい。

(事務局)

数値目標は令和5年度末時点のあるべき姿として設定されており、その道程にある令和4年度の評価について、事務局案としてまとめている。目標に対して未達成の項目であっても、取り組みの状況や目標に対して前進しているかどうかを評価基準している。こうした評価方法も含めて、委員の皆様からご意見を頂戴したい。

(平瀬会長)

意見も出尽くしたので、事務局案を承認して宜しいか。

※異議なし

(3) 令和5年度見附市障害者自立支援協議会の活動について

(事務局)

※令和5年度見附市障害者自立支援協議会の活動について資料4を用いて説明。

(小林委員)

差別解消法の合理的配慮について、令和6年4月1日から企業側においても義務化となるが、見附市の取り組みや企業側へのアクションについては協議会としてどのように取り組むのか。それらを計画に反映していくのか。

(事務局)

合理的配慮については、就労支援部会で発行している「見附市障がい者雇用通信」の記事の中で昨年取り上げ、商工会に協力いただきながら市内企業に配付しており、これまでも協議会として取り組んでいる。今年度も企業側への周知や、広報みつけでの掲載などを行う予定である。計画については、今回は福祉計画部分の更新であり、指標の見直しが主となるが、差別解消法については部会として今後も周知活動等に努めていきたい。

(真壁委員)

児童発達においても、合理的配慮がなされなかったため、才能があるにもかかわらず、ひきこもりや二次的障害、新たな病気、反抗的な態度になってしまう児童が多い。そういった引っかけが悔やまれるため、家族と協力しながら職員一同日々知恵を絞っている。子どもたちが才能を發揮できるようにしていくことで、本人も含めた豊かな見附、日本になってもらいたいと感じている。

(金安委員)

実績報告において利用が減少したサービスの中には、新型コロナウイルスが要因のものがある。希望者がいても事業所側で運営できなかった期間がある。見附のサービス量が足りているという実績ではないため、計画の見込量は留意いただきたい。

(事務局)

新型コロナウイルスの影響を受けたであろうサービスについては、コロナ禍前の実績を加味しながら見込んでいきたい。

(平瀬会長)

意見も出尽くしたので、事務局案を承認して宜しいか。

※異議なし

5、その他

※事務局より情報提供。

(事務局)

令和6年3月10日(日)に、見附市にて耳の日フェスティバルが開催される。令和2年に開催予定であったが、コロナで中止になった経緯がある。改めてアルカディアにて開催されるので、ぜひ参加してもらいたい。

【午後3時40分散会】